



2

研究成果
ポスター
プレゼンテーション



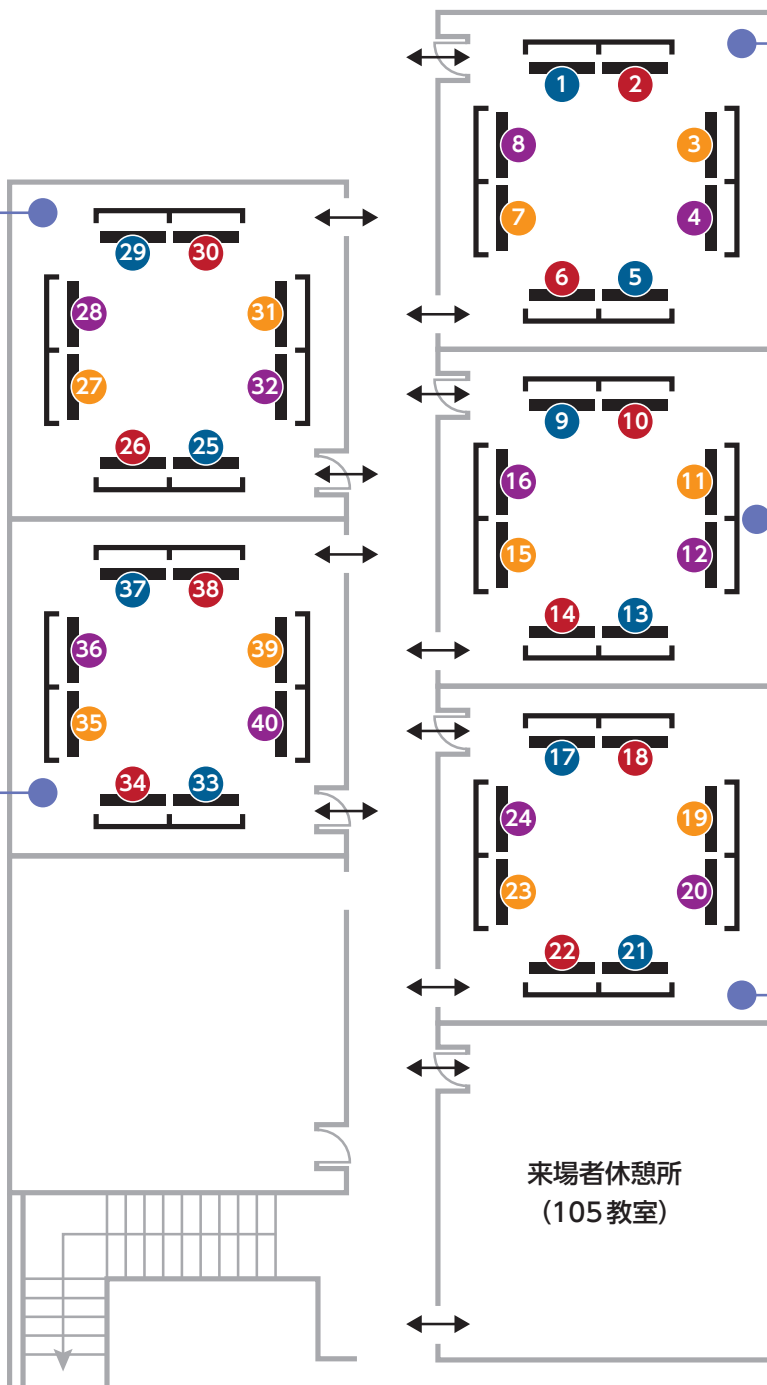
1F

106 教室

- 25 A 大阪府立能勢高等学校
- 26 B 東洋大学附属牛久高等学校
- 27 C 京都市立西京高等学校
- 28 D 長野県長野高等学校
- 29 A 鳥取県立鳥取高等学校
- 30 B 岐阜県立大垣北高等学校
- 31 C 愛媛県立松山東高等学校
- 32 D 京都学園高等学校

107 教室

- 33 A 青森県立青森高等学校
- 34 B 関西創価高等学校
- 35 C 暁星国際中学校・高等学校
- 36 D 啓明学院中学校・高等学校
- 37 A 金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校
- 38 B 広島大学附属福山中・高等学校
- 39 C 滋賀県立守山中学校・高等学校
- 40 D 熊本県立済々黉高等学校



102 教室

- 1 A 市立札幌開成中等教育学校
- 2 B 清風南海高等学校
- 3 C 千葉県立佐倉高等学校
- 4 D 兵庫県立国際高等学校
- 5 A 新潟県立国際情報高等学校
- 6 B ノートルダム清心学園清心女子高等学校
- 7 C 星城高等学校
- 8 D 長崎県立長崎東高等学校

103 教室

- 9 A 大阪府立豊中高等学校
- 10 B 茨城県立土浦第一高等学校
- 11 C 兵庫県立長田高等学校
- 12 D 富士見丘中学高等学校
- 13 A 和歌山信愛中学校高等学校
- 14 B 長野県上田高等学校
- 15 C 愛媛大学附属高等学校
- 16 D 京都府立鳥羽高等学校

104 教室

- 17 A 札幌日本大学高等学校
- 18 B 清教学園中・高等学校
- 19 C 千葉県立成田国際高等学校
- 20 D 甲南高等学校・中学校
- 21 A 富山県立高岡高等学校
- 22 B 金光学園中学・高等学校
- 23 C 中部大学春日丘高等学校
- 24 D 大分県立大分上野丘高等学校

来場者休憩所
(105 教室)

102 教室

1 A 発表言語 / 日本語

市立札幌開成中等教育学校
 中村 匠吾

雪エネルギーを利用して夏の札幌を乗り切る

毎年、北海道に大量に降る雪。札幌市は道路の除雪や雪対策のために多くの費用をかけており、雪が降る地域に住む人々にとっては邪魔なものとして扱われています。ですが近年、雪は期間限定ではありますが再生可能である自然エネルギーとして注目を浴びています。本研究ではその雪が持つエネルギーに着目し、真夏日が続く夏の札幌を乗り切るための方法について研究しました。

2 B 発表言語 / 日本語

清風南海高等学校
 井岡 正樹 / 小林 佳史 / 鈴木 京桜 / 中村 望愛 / 福嶋 茜

バーチャルトレードで花粉症撃退！

私達は仮想投資を通して、社会がどの様に機能しているのかを知ると同時に、様々な社会問題に対する意識を高めることを目的として活動を行いました。その中で私達は花粉症に焦点を当て、花粉症の原因を詳しく調べ、その撲滅につながる業種を選定しました。投資を行うにあたり、選定した業種に属する企業の活動状況を調べ、私達が作成した独自の指標を基にスクリーニングを重ね、各企業を評価し、それぞれの投資額を決定しました。

3 C 発表言語 / 英語

千葉県立佐倉高等学校
 松尾 香奈 / 外岡 晴雪 / 伊藤 汐里 / 白川 聡一郎 / 吉田 真由 / 前田 瑞季

Bringing more people to Sakura through "Nohaku"


Narita Airport in Chiba sees a huge amount of tourists daily. But few of them stay in Chiba, many just go to Tokyo. Based on interviews with tourists, farmers, and outside groups such as the "Green Tourism" group in England, we thought they might enjoy staying in Chiba with a plan called, "Nohaku" (farm stay). With this, we think we can appeal to tourists and develop the economy in Chiba.

4 D 発表言語 / 日本語

兵庫県立国際高等学校
 岩谷 優里 / 貞好 亜彩 / 清水 咲希 / 清間 有咲 / 谷本 楓 / 平田 悠未 / 春山 和 / 溝手 舞林 / 前畑 優月


日本への移出経験があるフィリピン人に対する調査に関する事例研究 ~外国人を受け入れるために私たちが考えなければいけないこと~

高畑(2011)によると、日本にやってきたフィリピン人の多くは興業の在留資格でやってきた女性であり、現在は定住者・永住者として暮らしています。私たちは国内およびフィリピンでの調査を通して、日本への移出経験があるフィリピン人の現状を明らかにすることで、日本がこれから多くの外国人を受け入れるにあたり考えなければいけないことを提示します。

5 A 発表言語 / 日本語

新潟県立国際情報高等学校
 阿部 祐己 / 上村 溜大 / 小泉 葵 / 高橋 蒼 / 武田 夕蔭


魚沼に外国人を呼び込もう！

人口減少、働き手減少、後継者不足に悩む魚沼。一方、在留外国人の人数は年々増加。私たちは外国人に向けて、外国人が住みやすい町づくりを目指します。外国人向けに長期ホームステイを企画し、将来的には魚沼に永住してもらうことを目標として、私たちは「魚沼アプリ」をはじめ様々なアイデアを考えてきました。これにより活気あふれる魚沼の実現ができると信じています。

6 B 発表言語 / 日本語

ノートルダム清心学園 清心女子高等学校
 鈴木 悠華 / 安達 さら / 高原 麻実 / 戸塚 友梨 / 美金 ののか

ジブリとディズニー映画をジェンダーの観点から読み解く

ジブリ映画・ディズニー映画で、ジェンダーがどのように描かれているかを探っていきます。年代や日本とアメリカによる差などを明らかにし、子どもたちのジェンダー形成にどのような影響を与えているか考察するという目的の下、先行研究を参考にしながら研究を進めていきました。日本とアメリカのジェンダーの捉え方の良い点・悪い点を見つけ出し、悪い点を指摘し、良い点を生かしていく提案ができるのではないかと考えています。

7 C 発表言語 / 日本語

星城高等学校
 豊田 このみ / 三浦 愛依 / 角岡 麻衣 / 平松 志乃

1人にしない ~地域防災から多文化共生の町へ

愛知県の外国人県民数は、近年増加傾向にあり、2017年、東京都に次いで第2位となりました。また日本は地震の多い国であり、愛知県においても東南海大地震等の災害対策が急務になっており、外国人においても安全で安心なまちづくりが求められています。そこで、私たちは、日本語によるコミュニケーションが困難な外国人においても、大きな災害時でも安心して避難できる仕組みづくりを考え、その方法を提言していきます。

8 D 発表言語 / 英語

長崎県立長崎東高等学校
 平山 凌我 / 三浦 功奨 / 市村 嘉健 / 岩下 昂太 / 松本 健生

To protect people from landslide disaster

Tateyama, an area where our school is located, has sloping landscape. We thought that it may cause a landslide and threaten local citizens after a long period of time. Landslide disasters have occurred not only in Japan but also in other countries. So we have made an original hazard map in order to increase the disaster preparedness for people around Tateyama and spread it throughout the world.

103 教室

9 A 発表言語 / 日本語

大阪府立豊中高等学校
 山口 三奈 / 川越 里穂 / 松本 萌花 / 深谷 明日美

**在日ムスリムと日本企業
 ~よりよい職場を作るために~**

私たちは先行研究から、日本企業で働くムスリムが、日本的な仕事のやり方への抵抗感や日本人からの被差別の感覚などを持っていると知りました。その現状を打開するため、在日ムスリムと彼らの仕事仲間に、仕事に対する意識や社内でのムスリム対応の現状を聞き、より適切な対応を行うため、宗教的な慣習についてまとめたパンフレットを作成しました。今後は、パンフレットを企業に提示し、ムスリムが快適に働けるようにします！

13 A 発表言語 / 日本語

和歌山信愛中学校高等学校
 巽 彩絵 / 松尾 彩生 / 谷口 芽依 / 中谷 美月

**和歌山の抱える地域課題
 ~医療・経済・防災・産業~**

私たちは地域の方々から依頼を受けて、4つの地域課題の解決にチャレンジしました。「医療」分野は、医師の偏在を越えて県全体の医療の質を維持するには、「経済」分野は、他者との連携を通して地元商店街をいかに盛り上げるか。「防災」分野は、女子高生として地域の防災力をどのように高めるか。「産業」分野は、和歌山の梅産業を未来へどのように発展させていくか。これらのテーマに取り組んだ研究成果について発表します。

10 B 発表言語 / 英語

茨城県立土浦第一高等学校
 石川 舞都 / 大石 弥歩 / 矢弓 理沙

SCE(Students Consulting Education)

It's said that most Japanese students take passive attitude toward studying compared with foreign students. So, we suggest a educational program to develop their ability to think by themselves. In this program, our company hold a seminar for students and teach them how to make plans to improve their classes and students submit the plan and talk about it with their teachers.

14 B 発表言語 / 日本語

長野県上田高等学校
 伊草 えな

これからの世界に必要なとされるグローバル教育のあり方


私は日本の教育がどうあるべきかを考えるために、最先端のグローバル人材育成教育を行う軽井沢のインターナショナルスクール I S A K を訪問し、NPO法人 I C A N の協力を得て本校が実施したフィリピンスタディツアーへも参加したりしました。こうした様々な教育環境の子供たちと接して考察した日本の教育の課題をまとめ、恵まれた条件の下で育った世界のリーダーが、貧困層の人々と共に向上するためにできる活動を提案します。

11 C 発表言語 / 日本語

兵庫県立長田高等学校
 水谷 結衣 / 藤沼 佳鈴 / 瀬崎 涼


**若者の投票率を上げる方法
 ~日本とドイツの主権者教育徹底解剖！~**

民主主義は主権者の政治参加によって支えられています。ところが、選挙権が18歳に引き下げられたにも関わらず、依然として若者の投票率は低いまです。そこで若者の投票率が高い国のうちで、主権者教育が充実しており、投票が義務ではなく権利であるドイツを参考に、学校で主権者教育を進めることによって合理的な判断力の養成と、若者の投票率アップにつなげることを目標に、小学生向けの主権者教育を提案します。

15 C 発表言語 / 英語

愛媛大学附属高等学校
 布 ころ

**Issues and countermeasures for regional inbound
 ~For attracting many foreigners to Shimanami Kaido~**

As the number of foreign visitors to Japan increases year by year, tourist destinations are changing from Tokyo or Kyoto to rural areas. Ehime prefecture is promoting sightseeing spot "Shimanami Kaido", the holy land for cyclists but lack of readiness for a foreigner is a problem. In this research, I have solved the problem that becomes clearly visible through the questionnaire.

12 D 発表言語 / 英語

富士見丘中学高等学校
 吉田 花暢 / 川田 さくら / 柴田 貴帆 / 村岡 美波 / 山縣 梨那

**Disaster prevention without depending on a language for the
 2020 Tokyo Olympics**

We are investigating about how to create emergency information signs that can be understood without a certain language. We are focusing on Japanese emergency sign pictograms and how to make them easier to understand. We wanted to help the foreign tourists who will come to Tokyo for the 2020 Olympics. So, we started our "Language-Free Disaster Guidance" survey and research.

16 D 発表言語 / 日本語

京都府立鳥羽高等学校
 岸田 莉奈 / 兵部 遥香 / 安田 知世

**移民のミライ
 ~わたしたちと移民が共生するには~**

世界では移民を受け入れている国が多数あるが、言語・宗教・文化等をめぐり様々な問題が起きている。少子高齢化が進行し、人口減少社会に入った日本では、労働力不足を解消するために移民受け入れが議論されている。わたしたちは、移民と日本人が共生していくにはどのような社会環境をつくるべきなのか、移民受け入れに積極的なドイツを参考に研究した。また、企業経営者に「労働力と移民」についてインタビューした。

104 教室

17 A

発表言語 / 日本語

札幌日本大学高等学校

朝日 瑚子 / 石井 日彩

発展途上国の教育問題

私たちは、発展途上国の教育問題に興味を持ちました。現在私たちは、当然のように教育を受け、教育の必要性などに深く着目することもないと思います。ですが、発展途上国では十分に教育を受けたくても受けられない人がほとんどです。そこで、なぜこのような状況になってしまったのか、今後どうしたらこの状況を改善できるのか、そして、教育の必要性を考察しました。

21 A

発表言語 / 日本語

富山県立高岡高等学校

芹原 那々子 / 堀井 涼花 / 三崎 穂乃佳

生物リズムを探る

体内時計についての研究がノーベル賞を受賞するなど、最近、体内時計はホットな話題となっています。医療分野では体内時計のつくるリズムに合わせて薬を飲む時間治療の研究が進められていることから、私たちは、植物にも固有のリズムがあれば、人間の時間治療のように肥料を与える時間によって効果が違うのではないかと考えました。そこで、植物の体細胞分裂のリズムや概日リズムに注目し実験をしました。

18 B

発表言語 / 英語

清教学園中・高等学校

井上 陽太 / 笠原 朱音 / 堤 祥太郎 / 藤野 桃羽

No One Left Behind ～surviving in a global society～

In recent years, the Japanese government has been promoting studying abroad as an effective means to nurture global human resources. But is studying abroad really effective? One problem is not everyone can study abroad, but all Japanese need to become global human resources. So, we will think about what kind of globalized people we should become and propose ways all people can achieve that goal.

22 B

発表言語 / 日本語

金光学園中学・高等学校

内村 彩乃

小学校の道徳教育を通してSNSを使いたいじめをなくすために ～日米のいじめに対する取組から見てくるもの～

長年、メディアでは「いじめをなくそう」と呼びかけられていますが、いじめはなくなるどころが増加しています。いじめ防止対策推進法の制定で定義が明確になった影響もあると思いますが、特にSNSを使いたいじめは増加傾向で、発見が難しく陰湿なものになっています。有効ないじめ対策を見出す為に現状を調査し、さらに海外の事例と比較し、小学校で実施する道徳教育の教材作成に活かすことができる知見を得たいと考えています。

19 C

発表言語 / 日本語

千葉県立成田国際高等学校

佐藤 悠也 / 平塚 まみか / 馬場 美海 / 林 亜胡

パパとママとぼく ～日常生活で抱える問題～

皆さんは今まで町を歩いていて困っている親御さんを見かけたことがありますか？現在、少子高齢化が様々なメディアで取り上げられる一方、「高齢化」の部分が大きく報道される事の方が多いように感じられます。私たちは世界各国の育児環境に関する問題を調査し、日常生活でどのような事が障害となるのか、逆にどのような事が便利なのかを研究し、客観的に見た日本の育児環境の問題点を追求し改善策を提案します。

23 C

発表言語 / 日本語

中部大学春日丘高等学校

伊藤 真緒 / 河村 壮真

日本における水素燃料電池車の普及

現代では、世界規模の問題としてCO₂排出による地球温暖化や化石燃料の枯渇が懸念されています。これに対し、走行時にCO₂を排出しない水素燃料電池車は有効な打開策であると考えられます。そこで水素燃料電池車の性能が現代のニーズに見合うか、将来的に燃料補給処、CO₂を排出しない水素成分方法の発案、そして価格等の問題に焦点を当てました。

20 D

発表言語 / 日本語

甲南高等学校・中学校

岩崎 雅久

社会的自立困難者(ひきこもり)は災害の時どう動くのか

近年厚生労働省がひきこもり対策推進事業を強化しているように、今ひきこもりが急増している。そんな中、今最も恐れられている南海トラフなどの巨大災害が起こったとき、引きこもりの人々はどう動くのか。大量のひきこもりの人々が初めて助けを求めて表に出てきた場合、さらなる問題が生じる。一人でも多くのひきこもりの人々を社会復帰させる必要がある。ターニングポイントはどこにあるのか、答えを探していきたい。

24 D

発表言語 / 英語

大分県立大分上野丘高等学校

加嶋 春希 / 濱洲 真保子

In order to save infants' lives

We have focused on "infant mortality" and researched what we can do to decrease the rate. We believe that the support by developed countries must be sustainable and appropriate for the cultures and the values of the people there. Through our study, we have come up with one hypothesis; if we improve the number and the quality of birthing nurses, infant mortality rate will decrease.

106 教室

25 A

発表言語 / 日本語

大阪府立能勢高等学校

大城 伊織 / 後 大成 / 小倉 惇

モンゴル 貧困とストリートチルドレン
～質の高い教育をみんなに～

モンゴルでは、1990年に大きな社会変革が起こり仕事を失う人が多く発生した。仕事を求めた人々は首都ウランバートルに集まり貧困地域が発生し、貧しさの中で家庭崩壊も起こりストリートチルドレンが増加した。現在はそれらのストリートチルドレンの次世代の子どもたちが貧困の連鎖の中で苦しんでいる。ウランバートルにあるこれらの子どもたちを保護し支援する施設や組織を訪問し、貧困の連鎖から抜け出す方法を考察した。

29 A

発表言語 / 英語

鳥取県立鳥取西高等学校

藤田 杏奈 / 下口 蒼太 / 中村 悠人 / 村岡 優菜

Low-Carbon Society

In order to save our planet, we studied environmental issues and focused on how to achieve a low-carbon society. We conducted an attitude survey on transportation in Tottori and Adelaide. We carried out a statistical survey in both areas, with focus on whether the transportation methods used by the respondents were reflective of a low-carbon society, and visualized the results in various graphs.

26 B

発表言語 / 英語

東洋大学附属牛久高等学校

青木 優菜 / 篠田 希実

Crisis on Tap? We must not take it for granted.

Do you drink the tap water? We have studied the differences in cultures, lifestyles and foods among Japan and other countries. The topic that we are interested in the most is the quality of tap water. Around the world, water is one of the most limited resources of all. We must not think naturally that we can use them infinitely. And now, we propose new ways of water efficiency.

30 B

発表言語 / 日本語

岐阜県立大垣北高等学校

宮内 彩璃 / 尾前 友梨碧

カンボジアのすべての子供たちに教育を
～行政の視点からみる教育格差の持続可能な是正案～

カンボジアのすべての子どもたちに平等な教育が提供される環境づくりを目的に、この研究を始めました。実際に高校での海外研修でカンボジアを訪問した経験や、JICAの調査資料から現状を把握・分析し、なぜ深刻な教育格差が発生しているのかを考察しました。その原因を根本から解決するために、行政の視点から教育政策の課題を明らかにし、持続可能な教育格差是正のための具体策を提案しました。

27 C

発表言語 / 日本語

京都市立西京高等学校

宇津山 日和

日本における「グローバル化」と高校生

現在、日本では「グローバル化」という言葉が経済、政治、文化など様々な分野で使われています。そこで私は、「グローバル化」という言葉の語源、歴史、普及した背景を明らかにし、他国での「グローバル化」に対する捉え方、「グローバル化」に向けた取り組みを調査した結果を踏まえて「グローバル化」を再定義し、その「グローバル化」にむけて高校生にできることは何かということを考察します。

31 C

発表言語 / 日本語

愛媛県立松山東高等学校

前川 大河 / 川越 一輝

ゾウリムシの電気走性に
pHや金属イオンは影響を及ぼすか？

ゾウリムシは全身が繊毛で覆われ、環境にตอบสนองして走性を示すことが知られています。中でも電気走性速度とpH・金属イオンの関係に注目して研究しました。実験の結果、電気走性が積極的な繊毛運動の結果であること、pH・金属イオンがゾウリムシの繊毛運動に影響を及ぼしていることが分かりました。ゾウリムシ繊毛運動の研究は、多細胞生物の行動や病気の解明にも繋がります。今後もさらに研究を深めていきたいと思ひます。

28 D

発表言語 / 日本語

長野県長野高等学校

宇崎 成美 / 小坂 奈菜子 / 小野澤 柊帆 / 山岸 泰樹

主体性が育つ教育環境とは

本研究は、長野県の夏休みが短いという私たちの実感から始まりました。欧米の学力と比べると休みの長さだけでなく、入試制度、学校に対する生徒の姿勢や考えにも違いが見られます。休みが長い欧米の生徒の学力が高いのはなぜでしょうか。私達が着目したのは、生徒の主体性です。まず私達生徒が主体的に変わることが、グローバル社会に通用する教育への第1歩であるとし、実現へのアイデアを考えました。

32 D

発表言語 / 英語

京都学園高等学校

濱村 海都貴 / 川勝 将吾 / 神元 理丘 / 金山 遼

Clean Meat
～Helping Environment～

We are researching about SDG13 and problem relating it. Especially, we focus on food problem which relate to SDG13. Solving this problem, we found technology called Clean Meat. Clean Meat is artificial meat not from animals. This is made from stem cell. We will introduce Clean Meat and our business plan using Clean Meat. Clean Meat has potentials to solve climate change and hunger problem.

107 教室

33 A 発表演語 / 英語
青森県立青森高等学校
 木村 紅愛 / 三浦 雪絵

“Regenerating Surplus”

To reduce garbage, we make use of the waste burdock making building blocks which are safe for children. During our research, we came to know about a safe edible sheet made from surplus vegetables, and it gave us the idea of using surplus vegetable fiber. Aomori Prefecture produces a lot of burdock, however, with certain amount of waste. Now we made many prototypes using this waste and brought them to Singapore to see if they fit the needs of consumers even in foreign countries.

37 A 発表演語 / 日本語
金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校
 中村 友哉 / 北村 佳のん / 山本 航平 / 岸上 航太

AIを用いた発展途上国における各地域に寄り添った貧困解決方法の提示と高校生のわたしたちができること

私達はSDGsの中の特に貧困を解決するため、異文化交流や先行事例を通して複数の発展途上国がいかに貧困を脱したかを調査しました。その結果AIを使う方がより効率的だと考え、人間とAIの根本的な違いや能力の差異を示し、AIを用いた具体的な提案を出します。提案は各国のニーズに適したAIの使用方で、その国に寄り添う支援になります。そしてこれに対し、日本の高校生の自分達ができることを提案します。

34 B 発表演語 / 日本語
関西創価高等学校
 中恵 さくら / 村山 美咲 / 佐野 俊英 / 谷口 響

生態系を守れ！ なぜか学校に外来魚!?

日本では、江戸時代より魚粉肥料が活用されています。本校の池に生息する外来魚を駆除することで生態系を守ると共に、駆除した外来魚で魚粉肥料を作成し、地域に還元することを研究課題としています。SDGs「15.陸の豊かさを守ろう」に掲げられた外来生物の駆除を実現するために、身近なところからできることを探りました。

38 B 発表演語 / 英語
広島大学附属福山中・高等学校
 上林 悟 / 平川 景光 / 佐守 那菜 / 土利川 香苗 / 坂田 晴花

Japanese student enrollment at foreign universities

Studying abroad is one of the way to catch up with the global society. However, Japanese students are not so positive about it. We think there are several problems behind this fact. We compared situations in Japan with that in other countries by dates and analyzed the current situation. We found that Japan should increase the number of international students judging from the fostering leaders.

35 C 発表演語 / 日本語
暁星国際中学校・高等学校
 青葉 あずさ / 丈達 ねね / 佐々木 彩花 / 伊藤 紗生 / 遠藤 咲希 / 難波 乃依 / 田中 綺亜良

文明と天災 ～私たちが東日本大震災から学んだこと～

東日本大震災は強烈すぎるが故に経験や想いを胸から取り出すことが困難でした。高校で防災教育を受ける一方で復興支援ボランティアに継続して参加し現地の方々と話す中で震災と文明の実状を知り、感情的な経験を言語化し捉え直すことができました。地球上に住んでいる限り、どの国でも自然災害は避けられません。本研究では3月11日に何が起きたかを検討し、この天災から学ぶべきものを考察します。

39 C 発表演語 / 日本語
滋賀県立守山中学校・高等学校
 脇阪 優唯 / 森 日向子

守山ホテル再生プロジェクト

守山市は古くからホテルの群生地として知られていましたが、環境変化により見られなくなってしまいました。しかし、「ホテル条例」の制定後、市民による保護活動が活発化し、市街地でもホテルを復活させようとする活動が始まりました。本研究は、その一環として行いました。ホテルが自生していない市街地を流れる吉川川を対象とし、環境調査の結果をもとに、ホテルが自生できる環境整備を行い、その効果を検討しました。

36 D 発表演語 / 日本語
啓明学院中学校・高等学校
 早瀬 杏樹 / 藤江 紗良 / 古西 みく / 古瀬 和音

ミャンマースタディーツアーを通して見えてきた「教育」に関する課題と展望

スタディーツアーの目的は ミャンマーのソーシャルビジネスの現場に赴き、現地の社会課題、私たちの課題について考えることである。①HIV感染孤児のための慈善事業施設、②仏教徒の聖地、③YMCA、④八角平和計画を展開するタンタウンジー、⑤首都ネーピードーを訪れ、人々と交流し、取材をした。ミャンマーの社会問題は雇用の創出を含め、教育制度の整備を進めていき、貧困問題を解決することが優先されるべきだと考えた。

40 D 発表演語 / 日本語
熊本県立済々黌高等学校
 藏座 晴香

地震の際の情報収集において最適な手段は“SNS”?

私は「地震の際にSNSを活用すれば、できるだけ早くかつ正確な情報収集ができる」という仮説を立てて研究をしています。SNSには、嘘の情報に騙されやすく、情報量が多いため自分に必要な情報がわからないという問題点があり、その解決策として「Hope Information Card」というものを考えました。今後は実際の場面でこのカードが本当に役立つかを調べ、実用化できるレベルへ改良していきたいと思えます。